

「2019年度第二回公開講座受講者アンケート」集計表

(受講110人中、お名前、住所が分かる66人に調査票を送り、53人から回答を得た)

A 今回の公開講座の開催をどのようにしてお知りになりましたか？【○印をいくつでも】

	回答数	構成比
(1) 市役所	7	10.9%
(2) 職場	1	1.6%
(3) 自治振興会	7	10.9%
(4) 知人	6	9.4%
(5) 市民会議のチラシ	17	26.6%
(6) 市民会議のホームページ	0	0.0%
(7) 第一回講座に参加して	18	28.1%
(8) その他	6	9.4%
無回答	2	3.1%
計	64	100.0%

B 今回の公開講座にご参加いただいた理由は何ですか？【○印をいくつでも】

	回答数	構成比
(1) テーマに興味があったから	39	49.4%
(2) 出演者（地元の自治振興会長や市役所担当者）に興味があったから。	17	21.5%
(3) 呉西地区交通まちづくり市民会議主催の公開講座に興味があったから	18	22.8%
(4) その他 ⇒以下に“その他”の内容をご記入ください。	5	6.3%
無回答	0	0.0%
計	79	100.0%

C 今回の公開講座の内容はいかがでしたか？【○印を一つだけ】

	回答数	構成比
(1) たいへん有意義であった	26	49.1%
(2) ある程度有意義であった	17	32.1%
(3) 普通だった	7	13.2%
(4) あまり有意義ではなかった	3	5.7%
(5) まったく有意義ではなかった	0	0.0%
(6) わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	53	100.0%

D-1 今回の公開講座に対するご感想をお聞きます。【○印をいくつでも】

	回答数	構成比
(1) 地域の公共交通に関心を持った	24	20.3%
(2) 地域の公共交通の実状がよくわかった	31	26.3%
(3) 地域の公共交通のために地域住民にも役割があることがわかった	25	21.2%
(4) 各地の先進事例は勉強になった	23	19.5%
(5) もっと深い議論があれば良かった	8	6.8%
(6) 良くなかった	0	0.0%
(7) その他 ⇒以下に“その他”の内容をご記入ください。	7	5.9%
無回答	0	0.0%
計	118	100.0%

E 今後「愛のりくんタクシー」のような公共交通手段を他の地域にも広げていくべきだと思いますか？【○印を一つだけ】

	回答数	構成比
(1) 思う	39	73.6%
(2) 思わない	5	9.4%
(3) わからない	9	17.0%

無回答	0	0.0%
計	53	100.0%

F 地域の公共交通の活性化のために重要だと考えられることについてお尋ねします。それぞれ、当てはまる口に✓印をお願いします。【各項目ごとに✓印を一つだけ】

1. 行政と市民・利用者の連携

	回答数	構成比
(1) 不要	0	0.0%
(2) やや不要	0	0.0%
(3) どちらでもない	1	1.9%
(4) やや重要	8	15.1%
(5) 重要	41	77.4%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

2. 利用者の声を聞く機会の創出

	回答数	構成比
(1) 不要	0	0.0%
(2) やや不要	1	1.9%
(3) どちらでもない	2	3.8%
(4) やや重要	14	26.4%
(5) 重要	33	62.3%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

3. まちづくりとの連携

	回答数	構成比
(1) 不要	0	0.0%
(2) やや不要	0	0.0%
(3) どちらでもない	5	9.4%
(4) やや重要	15	28.3%
(5) 重要	31	58.5%
無回答	2	3.8%
計	53	100.0%

4. 企業や学校との連携

	回答数	構成比
(1) 不要	0	0.0%
(2) やや不要	0	0.0%
(3) どちらでもない	11	20.8%
(4) やや重要	15	28.3%
(5) 重要	23	43.4%
無回答	4	7.5%
計	53	100.0%

5. クルマ利用の抑制・軽減

	回答数	構成比
(1) 不要	3	5.7%
(2) やや不要	2	3.8%
(3) どちらでもない	13	24.5%
(4) やや重要	25	47.2%
(5) 重要	7	13.2%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

6. 行政からの金銭的な補助の拡大

	回答数	構成比
(1) 不要	1	1.9%
(2) やや不要	0	0.0%
(3) どちらでもない	12	22.6%
(4) やや重要	18	34.0%
(5) 重要	19	35.8%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

7. 運賃を下げて利用しやすくする

	回答数	構成比
(1) 不要	4	7.5%
(2) やや不要	5	9.4%
(3) どちらでもない	13	24.5%
(4) やや重要	14	26.4%
(5) 重要	13	24.5%
無回答	4	7.5%
計	53	100.0%

8. 運行間隔を密にするなどダイヤを充実する

	回答数	構成比
(1) 不要	1	1.9%
(2) やや不要	1	1.9%
(3) どちらでもない	9	17.0%
(4) やや重要	20	37.7%
(5) 重要	16	30.2%
無回答	6	11.3%
計	53	100.0%

9. 鉄道の増便やコミュニティバス・市営バスの導入

	回答数	構成比
(1) 不要	2	3.8%
(2) やや不要	0	0.0%
(3) どちらでもない	11	20.8%
(4) やや重要	19	35.8%
(5) 重要	17	32.1%
無回答	4	7.5%
計	53	100.0%

10. 早朝・深夜まで運行の拡大

	回答数	構成比
(1) 不要	4	7.5%
(2) やや不要	7	13.2%
(3) どちらでもない	23	43.4%
(4) やや重要	10	18.9%
(5) 重要	4	7.5%
無回答	5	9.4%
計	53	100.0%

11. 鉄道やバスの情報提供の充実

	回答数	構成比
(1) 不要	0	0.0%
(2) やや不要	2	3.8%
(3) どちらでもない	11	20.8%
(4) やや重要	25	47.2%
(5) 重要	11	20.8%
無回答	4	7.5%
計	53	100.0%

12. 公共交通同士の連携の拡大

	回答数	構成比
(1) 不要	0	0.0%
(2) やや不要	1	1.9%
(3) どちらでもない	3	5.7%
(4) やや重要	23	43.4%
(5) 重要	23	43.4%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

13. 交通事業者にもっと要望すべき

	回答数	構成比
(1) 不要	1	1.9%
(2) やや不要	2	3.8%
(3) どちらでもない	20	37.7%
(4) やや重要	15	28.3%
(5) 重要	9	17.0%
無回答	6	11.3%
計	53	100.0%

14. 観光やイベント時の公共交通の利用

	回答数	構成比
(1) 不要	0	0.0%
(2) やや不要	1	1.9%
(3) どちらでもない	6	11.3%
(4) やや重要	30	56.6%
(5) 重要	11	20.8%
無回答	5	9.4%
計	53	100.0%

15. その他 ※具体的に(記述式)

	回答数	構成比
(1) 記述有り	8	15.1%
無回答	45	84.9%
計	53	100.0%

G 設問Fの施策の中で特に重要と考えられるものを上位から順に3つ番号を書いて下さい

第1位

	回答数	構成比
(1) 行政と市民・利用者の連携	31	58.5%
(2) 利用者の声を聞く機会の創出	6	11.3%
(3) まちづくりとの連携	2	3.8%
(4) 企業や学校との連携	3	5.7%
(5) クルマ利用の抑制・軽減	1	1.9%
(6) 行政からの金銭的な補助の拡大	1	1.9%
(7) 運賃を下げ利用しやすくする	0	0.0%
(8) 運行間隔を密にするなどダイヤを充実する	1	1.9%
(9) 鉄道の増便やコミュニティバス・市営バスの導入	0	0.0%
(10) 早朝・深夜まで運行の拡大	1	1.9%
(11) 鉄道やバスの情報提供の充実	0	0.0%
(12) 公共交通同士の連携の拡大	2	3.8%
(13) 交通事業者にもっと要望すべき	0	0.0%
(14) 観光やイベント時の公共交通の利用	0	0.0%
(15) その他 (記述式)	3	5.7%
無回答	2	3.8%

計 53 100.0%

第2位

	回答数	構成比
(1) 行政と市民・利用者の連携	6	11.3%
(2) 利用者の声を聞く機会の創出	14	26.4%
(3) まちづくりとの連携	12	22.6%
(4) 企業や学校との連携	3	5.7%
(5) クルマ利用の抑制・軽減	1	1.9%
(6) 行政からの金銭的な補助の拡大	2	3.8%
(7) 運賃を下げ利用しやすくする	1	1.9%
(8) 運行間隔を密にするなどダイヤを充実する	4	7.5%
(9) 鉄道の増便やコミュニティバス・市営バスの導入	1	1.9%
(10) 早朝・深夜まで運行の拡大	0	0.0%
(11) 鉄道やバスの情報提供の充実	3	5.7%
(12) 公共交通同士との連携の拡大	2	3.8%
(13) 交通事業者にもっと要望すべき	1	1.9%
(14) 観光やイベント時の公共交通の利用	0	0.0%
(15) その他（記述式）	0	0.0%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

第3位

	回答数	構成比
(1) 行政と市民・利用者の連携	3	5.7%
(2) 利用者の声を聞く機会の創出	3	5.7%
(3) まちづくりとの連携	9	17.0%
(4) 企業や学校との連携	2	3.8%
(5) クルマ利用の抑制・軽減	2	3.8%
(6) 行政からの金銭的な補助の拡大	6	11.3%
(7) 運賃を下げ利用しやすくする	3	5.7%
(8) 運行間隔を密にするなどダイヤを充実する	1	1.9%
(9) 鉄道の増便やコミュニティバス・市営バスの導入	1	1.9%
(10) 早朝・深夜まで運行の拡大	4	7.5%
(11) 鉄道やバスの情報提供の充実	1	1.9%
(12) 公共交通同士との連携の拡大	10	18.9%
(13) 交通事業者にもっと要望すべき	0	0.0%
(14) 観光やイベント時の公共交通の利用	2	3.8%
(15) その他（記述式）	2	3.8%
無回答	4	7.5%
計	53	100.0%

H 具体的なご感想・ご意見があればお願いします

	回答数	構成比
(1) 記述有り	21	39.6%
無回答	32	60.4%
計	53	100.0%

J 先日、城端線・氷見線のLRT化が新聞やテレビで報道されましたが、あなたはどのように思いますか？【○印を一つだけ】

	回答数	構成比
(1) 沿線市が建設費・運営費を負担して、ぜひLRT化して利用しやすくする	6	11.3%
(2) JR西日本が主体となって、LRT化して利用しやすくすべき。	23	43.4%
(3) 多少不便でもLRTはせず、JR西日本が今のまま運行すれば良い。	4	7.5%
(4) わからない	5	9.4%
無回答	15	28.3%
計	53	100.0%

K あなたご自身のことについてお聞かせください

1. 年齢

	回答数	構成比
(1) 20歳代	0	0.0%
(2) 30歳代	1	1.9%
(3) 40歳代	3	5.7%
(4) 50歳代	4	7.5%
(5) 60歳代	17	32.1%
(6) 70歳代	20	37.7%
(7) 80歳代	7	13.2%
(8) 90歳以上	0	0.0%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%

2. 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	38	71.7%
(2) 女性	12	22.6%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

3. ご職業

	回答数	構成比
(1) 行政	2	3.8%
(2) 民間企業	6	11.3%
(3) 交通事業者	1	1.9%
(4) 自営業	8	15.1%
(5) その他団体	7	13.2%
(6) 学生	1	1.9%
(7) その他(記述式。記述は、回答26のうち18)	26	49.1%
無回答	2	3.8%
計	53	100.0%

L その他のご意見

	回答数	構成比
(1) 記述有り	7	13.2%
無回答	46	86.8%
計	53	100.0%

【記述式回答】

A 今回の公開講座の開催をどのようにしてお知りになりましたか？

その他

- 散居村ミュージアムの講座案内
- もりあげ隊
- となみ散居村ミュージアム学習講座

B 今回の公開講座にご参加いただいた理由は何ですか？

その他

- 南砺市でも同じような講義を聞いたことがある
- 子供や老人など弱者の移動手段が便利になることが、住民増につながると常々思っている。行政としても大いに啓発してほしい。JRも多様なサービスに努力しているが、幼稚園、小学校職員は利用できないでいるように思う。
- 車を持たず、公共交通に頼っているから
- 砺波だったから
- 出演者に興味があったが、急に変更になってしまった。大きな内容であるから学びたいと思っている（不明部分あり）
- 寿連合会・交通安全（の組織から聞いた？）
- ポスター

D 今回の公開講座に対するご感想をお聞きます。

その他

- 地元交通関係事業者にも参加してもらいたい
- 時間的な制約で参加者の意見はなかなか聞けないと思うが、素朴な意見でも言える雰囲気を作る努力をしてほしい。
- 高齢者の足をいかに確保するかは、将来絶対に必要になると思います。
- 一人ひとりにとって最適な移動手段は何か、まちづくりの核として、交通網を考える
- 質問者にまとめて質問するように注意してほしい。
- デマンドタクシーは利用が多いほど赤字が増えるという話があり、イマイチ？。路線バスで空気を運ぶよりよいと思ったが…。
- 講師が変更になって残念

F その他 ※具体的に

- 数多くの意見をよく聞いて参考にする
- 行政にとって重要な課題を広く知らせる役目を果たす人が参加しなかったり、関心が薄いことが気掛かり。
- 一人ひとりが公共交通を大切と考える気運の醸成
- バス、電車の定時運行（30分ごと）とマイカー減少策
- 個人のみならず、団体の力で。病院がバスを出す、イオンがバスを出す。
- デマンドタクシーの運行区域拡大
- 現在ある公共交通機関の利用促進と適切な改変
- 公共交通をとにかく利用すること
- 市民の意識付け、モビリティ・マネジメント、車利用との共存

H 具体的なご感想・ご意見があればお願いします

- 市全体を考えれば、利益優先ではなく、多少の税金投入は当然。十分、理解が得られると思う。
- 住民はないよりあったほうがよいとの発想で、公共交通を求めている。いざ運行した時、運賃が高いとか、運行ダイヤの問題などで結局、マイカーに頼るのではないか。市民、利用者にも経営について十分理解を得られるようにすべき。
- 愛のりくんを市民が大いに利用してほしい。それには皆さんの口伝えも大切だ。
- 地球温暖化が進んでいます。マイカーは移動に便利ですが、一人ひとりが余裕をもって公共交通機関を利用することで、排出ガスを少くできる。高齢化になると公共交通機関を利用する機会が多くなるので、より利用しやすい公共交通機関があればいいと

- 氷見線と城端線を直通化して、ワンチームにする考えが重要。高岡、氷見、砺波、南砺はひとつです。
- 機会があれば、講座に参加してみたい
- 参加できることがあれば、今後も参加したい
- 一人ひとりにとって最適な移動手段のありよう、都市計画の前提としての交通網を考えるべき
- 利用者が望んでいる時間、場所、コースなどを考えてほしい。土日曜が運休とは悲しい。平日は通学・通院コース、土日曜はイベント会場などへのコースがあればいいと
- 散居村なので一家に何台も自家用車を持つ家が多いが、高齢者は早めに免許を返納して、出来るだけ公共交通機関を利用すればよい。
- 人口減少がさらに進むことを考えると、大変難しい。しかし、移動困難者のためには必須。良い案はないでしょうか。
- 京都の事例は地域が一体となって支えるシステムが構築されており、素晴らしいこと、このうえないが、これをやり遂げる人材が待たれます。
- セミナーを一般市民より学校（特にPTAの方々）に聞いていただき、城端線や公共交通の大切さを知らしめてほしい。企業との連携をどうしたらいいか、企業と公共交通の連携を説いていく。
- 市民が公共交通を維持する方法を考える必要がある。
- JRからボールを投げられている現状を思うと、氷見線・城端線のLRT・直通化には、関係自治体が積極的に参加・参画すべきと思う。
- 都市と田園都市において、利用のあり方に違いがあると思う。
- 受益者負担の原則はわかりますが、根本的には、公共交通を維持する任務（責任）はやはり地方自治体にあるのでは、と思います。行政の下支えは大切であり、住民の自己責任に帰すべきではないと考えます。
- 南砺市と砺波市の市営バスが連携し、利用者の利便性を拡大してほしい。利用者の意見を行政が取り上げてほしい。
- 参加される方は現状、交通手段に困っていたり不安に思っている方が多いと思いますが、現状で困っていない人（働く世代、小さい子供の子育て世代）が理解し、将来を見据えて考えていけるような工夫が必要で重要だと思う。
- 利用者、交通事業者、行政が意見を重ね、最適な対応をしてほしい。金山先生のデパートEV論がとても分かりやすくよいと思います（第三回講座？）

K ご職業 その他

- 無職
- 定年退職して勉強中
- 無職
- 無職
- 年金生活者
- 無職
- 無職
- 主婦
- 無職
- 市議会議員
- 団体役員
- 無職
- 年金生活
- 無職
- 地方議員（市議）
- 従業員
- パート

L その他のご意見

- 人口減でも利用者が移動するから……（不明）
- LRT化はJRが主体となるべきだが、沿線市、県も応分の負担をすべきだと思う。
- （城端線・氷見線が）一人ひとりがいつでもどこへでも移動できる交通網の一つの選択肢になってほしい
- 城端線氷見線沿線市は、利用促進策の展開を
- LRT化は沿線市が経費の一部を負担して、ぜひ行うべき
- 多少不便でもLRT化せず、JRが増便して運行すればよい

- LRT化は2、3のどちらでもない。むしろ、ダイヤを改善し、利便性の向上が先である。あいの風との乗り継ぎ割引を廃止するようなJRが立派な構想を打ち出しても信用できない。行政を議論に引っ張り出すためのアドバルーンを上げたのなら、JRが主体でやるべき（長文の記述有）
- 愛のりくんの利用受付、とりまとめは地区がやった方がいい。
- LRT化については、2、4半々。
- LRT化については、1、2どちらでもいいが、2に○を付けた。
- LRT化については、実現後の3セク化もあり。